

欠場するもRX-7孤軍奮闘! 占のZ軍団に負けじと4位入賞!

3位

フェアレディZ 14.14秒

永井重臣 (東京都)



←僕のチューニングは久保さんのところでやったといってもまだまだ下級クラスです。今回の成績には十分に満足してます(平田秀滋・23歳・ガソリンスタンド勤務)



点火系はワコーのCDIに日立のフルトラのコンビ、オイルはモービル1を使う

俗にL32と呼ばれるL28改の3167ccのエンジンを積んでいるZだ。その他、74度のハイカムをはじめ、レース用の電磁ポンプからステンレスのタコ足まで、教科書のようなチューニングがしてある。と思ったらそれも道理で、L系なら日本一といわれるスピードショップ久保でチューンしたそう。ビッグの強化サスにコニーのショック、RSワタナベのホイール前7J後8.5Jに、前P7の205/55-14、後にBSのレーシング15インチで足まわりをまとめている。



ホリデーのゼロヨン初めてなんでもちょっとあがっちゃいました。これからもっとチューンして走りますよ(荒島由明・21歳・運転手)

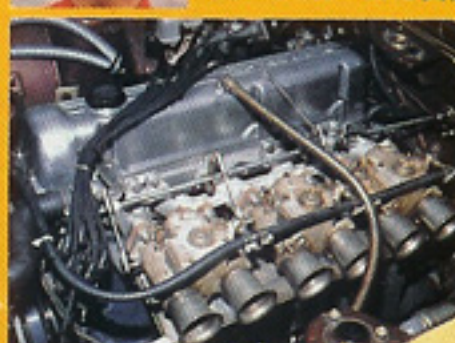


当日はボンネットがロックされていて開かなかったのが、エンジンをお見せできないのが残念

Zと並んでゼロヨンGPでは常に上位を占めるロータリー軍団も、今回は5台予定していたRX-7が3台しか当日現われず、うち1台はクラッチトラブルで出場不能になるというきびしい状況に追いこまれた。この中でサイドポートの13Bを搭載した1台が14秒26を出して4位に食い込んだ。キャブはウエーバー48φのダンドラで、コーエイのレース用CDIを2連装している他、サイドポートとしては限界までチューニングされている。足まわりも強化され、当日は前DLのSPフォーミュラRに後は溝切りのレーシングでトライした。



3位になっといてなんだけど、晴れて欲しかったし、タイヤもミスったみたい(永井重臣・24歳・会社員)



特注のピストンは89mm、クランクはLD28用83mmで3097ccになっている

走り屋のグループとして、東京では有名な「565(ゴルゴ)」のメンバーが一般参加に入りこんでいた。その永井さんはさすがに速かった。エンジンはL28の3.16版で、ウエーバーの48φという大口径キャブが最大の特徴だ。点火系はコーエイのCDIを装着し、日産純正の5ツ星オイルを冷やすオイルクーラーも備える。サスとショックはビッグの強化にトキコガスのコンビ。タイヤは前ポテンザ195/70-14、後CR88の225/550-14を6Jと9Jのホイールに組ませていた。